



主力商品 半生ドライフルーツ

○本社所在地：長野県下伊那郡阿智村春日3291番地1

○事業概要：地域農産物を活用した食品加工・菓子製造・観光土産事業

○常時使用する従業員：216名
(グループ全体・2026年3月時点)

○現在の売上高：34億円
(グループ全体・2026年3月期)

○法人番号：6100001025468

○Web：
<https://www.373shinshu.com>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
木下 裕亮

地域資源の価値創造・地域と共に成長する

私たちは、南信州の豊かな自然・農業・食文化を活かし、地域に根差した価値ある食品づくりを通じて、皆さまに「おいしさ」と「しあわせ」を届けます。
地域農業・地域文化・地域経済の持続的発展への貢献、循環型農産加工プラットフォームの確立により、南信州から全国、そして世界へ発信する食品ブランドグループを目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2040年にグループ合算売上高100億円達成を目指す

グループ会社連携の下、「素材菓子」「半生菓子」「生菓子」「農産物」の生産ノウハウを生かした技術相乗効果にて更なる事業規模拡大を図っていく。

課題

- ・**生産能力の拡張**：販路拡大・全国展開に対応するためには、生産設備の増強や自動化投資を要する。
- ・**原料調達安定化**：国産果実需要拡大に伴い、自社栽培拡大・農家連携強化・規格外果実の活用といった持続可能な原料調達体制構築が課題となる。
- ・**販路・ブランド認知拡大**：全国・海外市場への展開に向け、ブランド戦略強化・ECマーケティング・海外販路開拓が課題である。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・**六次産業推進**：農業から商品開発までの一気通貫体制を構築。
- ・**生産体制強化**：製造設備増設・自動化省人化投資・品質管理高度化により、全国流通・輸出対応可能な生産体制を構築。
- ・**商品開発強化**：国産果実を活用し、半生ドライフルーツ・高付加価値の和洋菓子・健康志向商品・ギフト商品・インバウンド向け商品の開発を図る。
- ・**販路拡大**：全国小売展開・EC強化・海外輸出・観光地販路・企業OEM拡大により、インバウンド市場やアジア圏輸出を成長分野として注力する。

実施体制

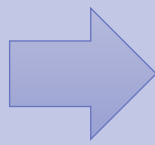
グループシナジー強化

- ・**南信州菓子工房** ⇒ 加工技術・OEM・素材開発
 - ・**お菓子のシアワセドール** ⇒ 半生菓子・ギフト観光ブランド
 - ・**いと忠** ⇒ 生菓子・地域文化ブランド
 - ・**子会社農業法人** ⇒ 循環型農産加工展開
- 上記役割分担を明確化し、グループ経営強化・統合的推進を図る。
- ・新規販路開拓のための営業体制構築
 - ・金融機関・専門家・研究機関・地方自治体連携の下、今後の事業展開や海外展開を含めた戦略方針策定に繋げる。

売上高100億円実現の目標と課題

南信州菓子工房株式会社 売上高100億円実現に向けた戦略
「循環型農産加工プラットフォームの確立」

- 1.原材料生産基盤の拡大
阿南食品におけるリンゴ栽培・生産、鹿児島有機農場におけるサツマイモ、有機野菜の栽培・一次加工、大分佐伯ファームにおける有休農地を活用したレモン自社栽培の事業展開を図る。（レモン栽培については2021年に定植開始し、ピーク時には年間300トン収穫が見込まれる。）
- 2.農産加工・製造
国内調達原料の素材を生かした菓子製造、シロップ漬け製法による高付加価値化。
- 3.規格外果実のアップサイクル
オーガニック需要の取り込みと、製造副産物のアップサイクルによる付加価値菓子開発。
- 4.環境負荷の極小化・循環型ビジネス
残ったシロップについて、ゼリー(寒天もち等)へ再利用。阿南・本社工場にて2022年稼働のバイオガス発電によるメタンガス再利用とCO2削減。



【2026年から2031年の5年ビジョン】
左記循環型プラットフォームの確立により、事業基盤を構築。ドライフルーツ国内シェア上位を生かしたブランド戦略。海外展開、FSSC22000準拠の新ライン構築、バイオガス発電・排水処理設備の拡張を実現し、年率3%の成長を図る。

【2032年から2040年の9年ビジョン】
定植した自社栽培果実の成熟時期到来により、農産品を利用した菓子開発に注力し、事業規模拡大を図る。年率10%の成長継続により、100億円売上目標達成を目指す。

